

事業所紹介

café SOMEI VILLAGE (東京都豊島区)

.....地域交流の場

当豊島区立駒込福祉作業所は、染井銀座商店街に地域交流・障害理解啓発・情報発信の場として喫茶店「café SOMEI VILLAGE」を運営しています。メインのドリンクメニューはコーヒーや自家製レモネード・抹茶ラテ、フードはホットドックやピザ・パスタなど、幅広い年代の方に美味しく召し上がっていただけるメニューを取り揃えています。現在、7名の利用者が喫茶店の作業に参加し、開店準備や接客、ドリンク作成、配膳、下膳、お皿洗いなどを行っています。

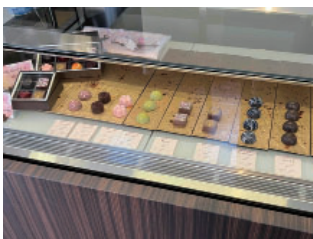
作業に参加している利用者からは「楽しい」「難しいけどがんばる」「やりがいがある」などポジティブな感想を聞くことができます。また、作業している利用者に対して、お客様や保護者も「がんばってね」「素敵よ」「美味しかった」と応援してくださっています。お客様は常連の方も多く地域の皆様に支えられて運営しています。近所の高齢者施設や障害者施設の利用者さんも、席を予約して来店してくださっています。最近では海外のお客様も増えてきています。コロナ禍の苦難を乗り越え、火～金曜日に元気に営業しています。

喫茶店内では、日本橋三越や池袋東武の百貨店催

事にも出店している駒込福祉作業所で作成したチョコレートや、成田空港の免税店、人形の久月にも出品してい



カフェ外観



クオリティの高い
チョコレート



自主生産品が
展示されていました

る自主生産品も販売しています。店舗を構えている染井銀座商店街では、11店舗に協力いただき「ふれあいアートストリート」と題して障害者アート作品を展示しています。ご来店の際にはぜひ足をお運びください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
豊島区立駒込福祉作業所 主任支援員 山口裕展）

◆喫茶店「café SOMEI VILLAGE」で、利用者Aさんにお話を聞きました。

Q：カフェでの仕事は楽しいですか？

Aさん：楽しいです！

Q：カフェでの仕事はどんな仕事をしていますか？

Aさん：お皿とコップを洗うこと。掃除と買い物と接客は楽しいです。

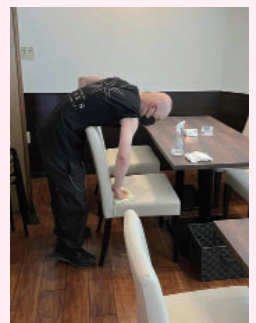
Q：開店前のお掃除をしているときにアーティストさんのTシャツを着ていましたが、好きなのですか？

Aさん：はい！ ライブに行ったりします。ライブは作業所で働いて貯めたお金でチケットを買って行っています！

*

Aさんは週に1回、午前中だけの勤務ではありますが、とても楽しそうにカフェのお仕事をされていました。ドリンクを購入させていただきましたが、支援者の方と一緒にドリンクを作ってくださいました。

カフェに勤務する利用者の方は作業所で毎年希望を募り、一人一人のスキルに合わせてカフェの中の仕事を割り振っているそうで、目で分かりやすい支援をされているのが感じられ、働きやすい環境づくりをしっかりされている印象でした。（事務局取材：芳野）



開店前の清掃作業をするAさん



障がい福祉ふれあい作文コンクール

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 常任理事 度会哲賢

日本知的障害福祉協会は、全国で知的障害児・者の福祉事業を行う約6,500事業所を会員とし、知的障害福祉の増進のための様々な活動を行う団体として、1934（昭和9）年に発足、1967（昭和42）年に財団法人、2013（平成25）年に公益財団法人の認可を受けています。

本協会の活動の一つとして、2014（平成26）年から「全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール」を実施しています。

この作文コンクールは、将来を担う子どもたちが、小・中学生の多感な時期に、日常生活や学校生活の中で、障がいのある方とのふれあいの体験等から思ったことや感じたことなどを自由に作文にして応募していただき、今後の福祉を考えるきっかけとなることを目指しています。

また、子どもたちの豊かな感性の中から溢れる社会へ向けたメッセージを、障害福祉に携わる方はもとより、同世代の子どもたちや教育機関関係者をはじめ、広く一般の方々にご覧いただくために、各大臣賞・会長賞の受賞作品を作品集として発刊するほか、本協会

ホームページで公表することにより、障害の有無に関わらず相互に人格と個性を大切に、共に支え合う共生社会の実現に寄与することを目的としています。

昨年度実施した第11回目となる作文コンクールは、「障がいのある方とふれあって ～わたしにとっての障がい福祉～」をテーマに全国の小・中学生より1,520作品が寄せられ、選考委員会において、文部科学大臣賞（2名）、厚生労働大臣賞（2名）、内閣府特命担当大臣（こども政策担当）賞（2名）、会長賞（4名）、入選者（100名）の受賞者を決定しました。

わたしは、選考委員会の予備審査に携わったことから、各都道府県協会から推薦された多くの作品に触れることができました。障害がある自身のこと、兄弟姉妹や家族のこと、学校やボランティアのことなどを通して、優しい気持ちや感動したこと、思いやりや助け合い、社会に伝えたいことなどが、素直な心で真っすぐに書き表されており、どの作品を読んでも心温まりました。

今年度も第12回目となる作文コンクールを実施しています。本作文コンクールの趣旨にご理解・ご協力をいただく関係者の方々に、心より感謝を申し上げるとともに、今年も多くの作品が寄せられることを期待しています。

第12回全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール

詳細は右のQRコードからご覧ください。

<http://www.aigo.or.jp/sakubun/>





準会員・賛助会員募集

私たちの事業活動にご賛同いただける会員（個人・法人）を募集しています

年会費（1年間4月1日から3月31日まで）／会員特典がございます

〔準会員〕1口 50,000円 〔賛助会員〕1口 10,000円

詳しくはホームページにて

● ご賛同いただきありがとうございます（25.5.1～25.7.30 順不同／敬称は省略させていただきます）

明官茂 らいふスペースともある 曾根翠 西永堅 森田昌男 西恵美（福）かながわ黎明会くりのみ学園 石渡和実 最上ふれあい学園
世田谷区立世田谷福祉作業所 うめだ・あけぼの学園 北海道療育園 谷信也（福）杏和会やまびこ学園（特非）ばれっと 鈴木薫
（特非）バリアフリーセンター福祉ネットナナの家 白梅福祉作業所（同）ユリア（福）いずみ会袖ヶ浦学園 赤羽西福祉工房 洛西愛育園
豊四季光風園 美和とよみ 豊島区立駒込生活実習所（福）後志報恩会大江学園 細瀬富夫（公社）石川県手をつなぐ育成会（特非）grand-mere
町田福祉園（株）ふきのとう 坪井瑞枝（特非）日本ポーテージ協会 西宮敬子 障害者支援施設あかつき園 よつぎ療育園
（福）芳香会青嵐荘路のとう舎 発達支援センターひこばえ 東北福祉大学図書館（特非）とこっ子（社）富山県手をつなぐ育成会 清水直治 早坂方志
川嶋浩一郎 のはら 内田匡輔（福）あだちの里綾瀬なないろ園 田中究 そだちサポート Mana KIDS BASE さんかく カメリアハウス
（福）幸生会 関あゆみ 地域活動ホーム連（一社）紫宝会 緑風園（福）山の子会山の子の家（福）光友会発達支援センターリエール（福）花
（福）オリーブの樹オリーブハウス（福）同愛会幸陽園 児童発達支援事業所ベリー 相川勝代 喜多麻衣子 江東区こども発達センター
（福）麦の子会（福）浄泉会やまばと学園 地域活動ホーム径（特非）わかみやクラブ（特非）ノーマリゼーション協会 二村典子
（福）上州水土舎 三浦明子（株）ひととき（福）広島市手をつなぐ育成会 三浦清邦 ゆうサポートセンター（福）悠久会明けの星寮 桑原桂
（特非）リベルテ 滝口圭子 うさぎ珈琲 飯泉弘仁 瀬能聖美 小田遥平 共同カイテック（株）（株）かじやま冷熱（一社）神戸市手をつなぐ育成会
鈴木悠莉亜（福）横浜愛育会 大村美保 猪瀬義明 障害者活動センターキックオフ（株）Kurasapo ぼらいと・えき 西伊興ひまわり園
西新井ひまわり工房（福）新世会みのの郷 玉村公二彦（特非）アントワープカウンセリングオフィス アリス Familysupport
（同）TK プロジェクト（株）結 PLUS（特非）たけのこキッズ（特非）楽歩 だいち（福）すてっぷ Little kid's club

NEWS!

冊子「こどものための災害対策 ～いざという時のために～」 を長野県小児科医会が発行

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、御嶽山噴火、令和元年台風19号災害、能登半島地震など大きな災害が頻発しています。災害に対して様々な対策が取られるようになってきましたが、こどもに焦点を当てた対策は十分とはいえません。そこで、お子様のいるご家族が、災害のことをよく知り、自分のこととして考えていただくためのきっかけとしてこの冊子を作りました。

お子様と一緒に、いざという時のために考え話し備えませんか？ そのヒントになれば幸いです。（2025年 長野県小児科医会災害対策ワーキンググループ）

（表紙より）

災害が発生したら、避難はどうする？ 障害・疾患のあるこどもはどうする？ など、備えのために役立つ情報が満載です。右のQRコードからご覧になれます。

こどものための災害対策

～いざという時のために～

天災は忘れたころにやってくる

正しく怖がることは難しい

文明が進むほど自然災害が激烈になる

用心しておけばその効果の現れる日がいつかは来る

（寺田真彦）

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、御嶽山噴火、令和元年台風19号災害、能登半島地震など大きな災害が頻発しています。長野県でもいつ災害が訪くるかわかりません。お子様と一緒に、災害に対しての備えを考え、話しあってみませんか？

下のQRコードから「こどものための災害対策」がご覧になれます。



長野県小児科医会



公益社団法人 日本発達障害連盟

私たちは、世界の知的障害・発達障害のある人々が、障害のない人と共に参加する共生社会の実現を目指しています。

【構成団体】

当事者と親・保護者の会

一般社団法人

全国手をつなぐ育成会連合会

【ホームページ】<http://zen-iku.jp/>

【TEL】03-5358-9274

福祉施設関係者の団体

公益財団法人

日本知的障害者福祉協会

【ホームページ】<http://www.aigo.or.jp/>

【TEL】03-3438-0466

学校教育関係者の団体

全日本特別支援教育研究連盟

【ホームページ】

<http://zentokurenhp.world.coocan.jp>

【TEL】03-3822-1606

研究者の団体

一般社団法人

日本発達障害学会

【ホームページ】<http://www.jasdd.org/>

【TEL】03-5814-8022

一般社団法人

全国手をつなぐ育成会連合会



公益財団法人

日本知的障害者福祉協会

全日本特別支援教育研究連盟

全特連



一般社団法人

日本発達障害学会

Japanese Association for the Study of Developmental Disabilities

編集：公益社団法人 日本発達障害連盟 会長 名古屋恒彦

〒114-0015 東京都北区中里1-9-10 パレドール六義園北402

TEL：03-5814-0391 FAX：03-5814-0393 URL：<http://www.jlidd.jp/>

発行：障害者団体定期刊行物協会（SSKP）

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102

※無断転載・複製を禁じます。 2025年7月21日発行 定価100円